

県民だより

1

月号


編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2159 FAX 028-623-2160

とちぎ新時代に向けて

二百万の笑顔が見える
ふるさととらぎ



那須山麓から八溝山に昇る朝日を望む

県民の皆様、あけましておめでとうございます。平成十二年は、激動の二十世紀を締めくくる年であり、同時に、新しい世紀の夜明け前ともなる節目の年であります。

今年、介護保険制度や地方分権がいよいよ実行の段階を迎えるなど、新たな時代に向けて我が国全体の社会システムが確実に生まれ変わろうとしています。

このような中、本県では昨年末、明日につながる明るい出来事が重なりました。

十二月四日に「日光の社寺」が「世界遺産」に登録され、また、同月二十日には国会等移転審議会の答申があり、「栃木・福島地域」が移転先候補地の一つとなりました。

誇りと愛着が持て、明日に希望の見えるふるさとであればこそ、誰もがその素晴らしい郷土を次世代に引き継いでいきたいと思うものです。本県の実力を再認識し、更に新しい一歩を踏み出すことで、必ずや魅力あるとちぎが創造されていくものと確信しています。

さて、今年「とちぎ新時代創造計画二期計画」も最終年次を迎え、計画の総仕上げを行う重要な年となります。このため、当面の経済対策をはじめ、少子・高齢対策、環境対策等の重要な課題に取り組みとともに、建設中の総合福祉プラザ等の県民利用施設の完成をめざし、計画の達成に全力を注いでまいります。

また、九月から十一月にかけて、「マロニエとちぎ緑花祭二〇〇〇」が開催されます。本県の魅力を全国に向けて発信する絶好の機会となるものですので、皆様の積極的な参加と御協力により、ぜひとも成功させてまいりたいと考えています。

一方、現在、新世紀初頭の県政を担う新しい総合計画の策定を進めています。新しい計画は、県行政の指針という枠に止まらず、県民全体が本県の持つ活力を引き出し、先人から引き継いできたこの美しいとちぎを、更に価値ある資産として守り育てるための行動指針ともなり得るよう、具体的な目標の設定や、より効果的な推進手法を取り入れるなど様々な工夫を凝らし、実効性の高い計画にしたいと考えております。

今後とも、県民の皆様とともに二百万の笑顔が見える「ふるさととちぎ」の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えていますので、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

年の初めに当たり、私の抱負の一端を申し上げますとともに、平成十二年が県民の皆様にとって、二十世紀を締めくくるにふさわしい素晴らしい一年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさついたします。



栃木県知事

渡辺 文雄



「栃木・福島地域」が 国会等移転先候補地に

国会等移転審議会が、昨年十二月二十日に、移転先候補地として北東地域の「栃木・福島地域」と東海地域の「岐阜・愛知地域」の二カ所を選定し、小淵内閣総理大臣に対して答申を行いました。また、「茨城地域」は「栃木・福島地域」を支援・補完する役割を期待するとして、「三重・畿央地域」は、将来新たな高速交通網等が整備されることになれば移転先候補地となる可能性があるとして、それぞれ答申に盛り込まれました。

今後は、国会に議論の場が移り、国民の合意形成の状況、社会・経済情勢に配慮し、東京都との比較考量を経て移転先地が法律により定められることとなります。

答申の概要

三地域への移転の性格

北東地域
東京との連携に優れ、東京との密接な協調の下に、自由度や弾力性を持ちながら段階的な移転が可能である。

東海地域
全国からのアクセスに優れ、名古屋と密接に連携し、国際機能などの充実と連動しながら、国際都市を築き上げていくことになる。

三重・畿央地域
京都・大阪との連携に優れ、関西圏の再構築を図りつつ、我が国の伝統文化の中心的役割を担ってきた畿内の近くへの復帰となる。

総合評価（十六項目の数値評価）
「栃木・福島地域」への評価が最も高く、次いで「岐阜・愛知地域」の評価が高かった。

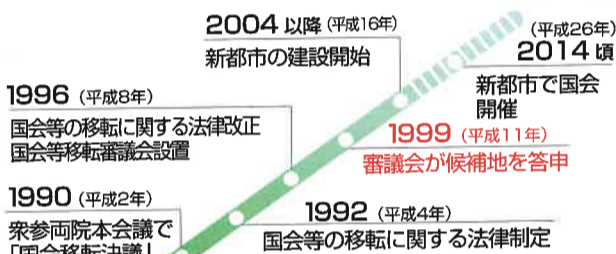


● 昨年12月20日の知事会見

多面的、多角的検討結果
将来の交通機能の充実など多面的、多角的検討結果によっても、両地域の優位性は動かなかった。

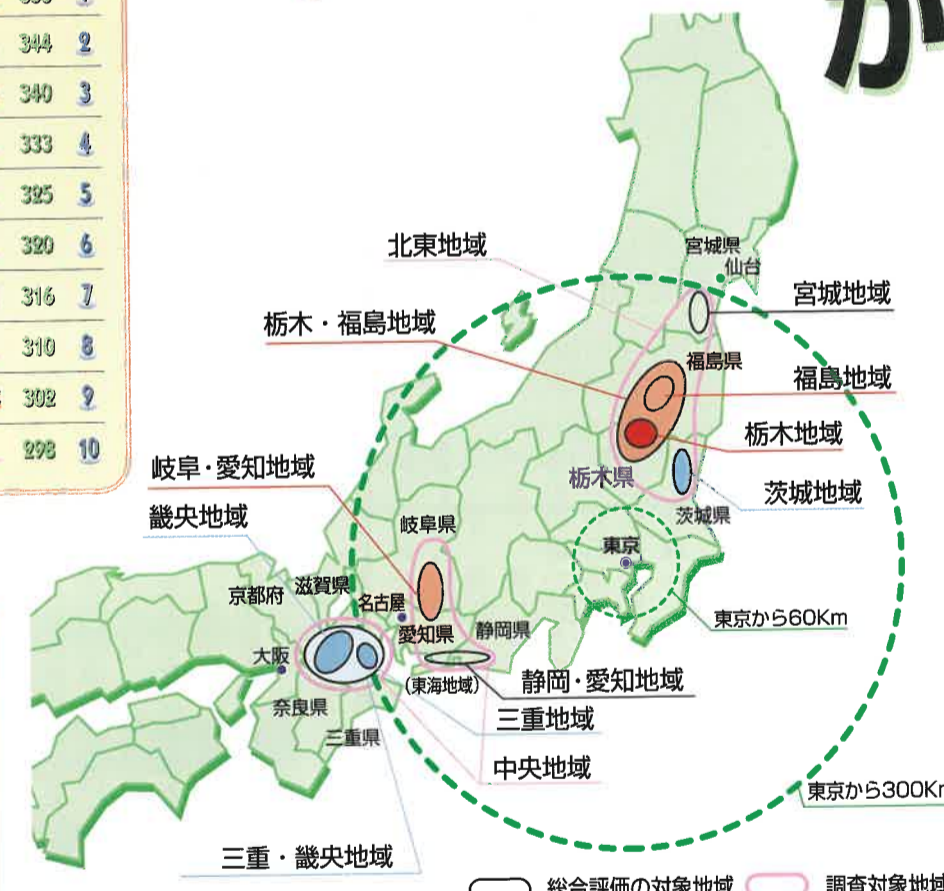
おわりに
答申を契機に国民の理解と議論が深まり、国会においては、内外の批判に耐え得る適切な結論を速やかに導かれるよう望む。

今後予想されるスケジュール



評価対象地域(10地域)に対する「総合評価」の結果です。栃木地域は、福島との連携で1位、単独でも2位でした。

地域名	総合評価点数	順位
栃木・福島地域	353	1
栃木地域	344	2
岐阜・愛知地域	340	3
茨城地域	333	4
福島地域	325	5
宮城地域	320	6
静岡・愛知地域	316	7
三重地域	310	8
三重・畿央地域	302	9
畿央地域	292	10



県民の皆様へ

栃木県知事 渡辺文雄

今回、国会等移転審議会から、本県的那須地域を含む「栃木・福島地域」が、移転先候補地として答申を受けましたことは、那須地域の優位性とこれまでの官民挙げての取組が評価されたものと考え、この場をお借りして感謝申し上げる次第であります。

今後は、国会において、東京都との比較考量などの審議を経て、移転先地が決定されることとなりますが、最終決定までには、解決しなければならぬ課題がまだたくさんあると受け止めております。このため、県民の皆様のご意見を聴きながら、新都市づくり

などについての調査研究に取り組みたいと考えております。

「栃木・福島地域」への国会等移転を実現するためには、県民の皆様のご同意を得ることが何よりも重要と考えておりますので、引き続き、あらゆる機会を捉えた広報・広聴活動を進め、県民の皆様のご理解を得るために最大限の努力をして参ります。

また、福島をはじめ、宮城、山形、茨城の各県とも、今まで以上に連携を密にした取組を進めていく考えであります。

これからも、県民の皆様のご理解と御協力をお願いいたします。

今後の県の取組

今後、県としては、県民の合意形成に向けて、引き続き取り組んで参ります。また、答申による投機的な土地取引や地価高騰を防止するための適切な対策を講じるとともに、移転に伴い想定される課題について調査研究を進めて参ります。

さらには、「栃木・福島地域」への国会等の移転実現に向けて、福島県はもとより、東北・北海道などの各道県にも連携の輪を広げる取組を進めて参ります。

これからも、県民の皆様のご意見や御要望をお待ちいたしております。

問合せ 県企画調整課
国会等移転対策室
TEL 028-623-2209

審議会の答申によせて



栃木県議会 郡司征夫 議長

那須地域が移転先候補地に選定されたことは、誠に喜ばしく、これはひとえに、多くの県民の皆様のご深い御理解と絶大な御協力の賜と心から感謝しております。

国会等移転審議会の総合評価で、那須地域がトップの評価をいただき、特に、景観の魅力と東京とのアクセスの容易性の項目で満点の評価をいただいたことは、まさに、那須地域が持つ景観と立地条件の良さが、全国的にも優れていることを表していると感じております。



栃木県議会 国会等移転対策特別委員会 委員長 吉谷宗夫

県議会といたしましても、これを新たなスタートと捉え、更なる県民合意の形成や「那須」の適地性の全国へのアピール等、なお一層積極的に取り組んで参ります。

那須・阿武隈地域が、審議会の答申で第一位の総合評価を得ましたが、今、五年間にわたる県議会特別委員会の活動を振り返り、大変感慨深く思っています。

今回の答申を契機に、北東地域の各県議会との連携をさらに強化していかなくてはならないと、決意を新たにしています。

荒涼たる原野であった那須野ヶ原は、明治以降先人達の努力で今、緑の大地に変貌を遂げました。そして百三十年の時を経て、今度は日本の未来を拓く「那須」に生まれ変わる、そんなロマンに満ちた夢を、多くの人々と共有していきたいと思っております。

新春 知事対談

～とらぎの魅力と語る～



今月号は、年頭にあたり、渡辺知事と女優の高木美保さんに、栃木の魅力について語っていただきます。進行役は、フリーアナウンサーの白井佳子さんです。

【知事】 あけましておめでとうございます。

【高木】 おめでとうございます。

【知事】 高木さんは栃木県にいらして二度目のお正月ということですが、栃木県にいらつしやうたきつかけは何なんですか。

【高木】 もともと私は日光が好きで、良く旅行に来ていたんです。それと以前ちよつとした病気をしまして、その時につくづく自然の中で暮らしたいと思うようになって、色々探したんですが、やはり栃木県的那須が一番いいなということ。

【知事】 高木さんが那須にお住まいを移されたことを僕は拍手を持ってお迎えしますよ。

【高木】 ありがとうございます。

日光の魅力

【白井】 昨年十二月、日光の二荒山神社、東照宮、輪王寺の社寺が世界遺産に登録されましたね。日光の魅力はどういうところだと知事はお考えですか。

【知事】 全部だと思えますね。登録された日光の社寺は、十七世紀頃を代表する建造物、国宝や重要文化財が百三棟。こんなに沢山の素晴らしい建造物が一カ所にまとまっているというのは世界でも例がないんだそうですよ。そしてそれを取り巻く自然の豊かさ、それがトータルとして世界遺産という形で認められて、大変喜んでます。今日まで伝えてくれた私たちの先輩に本当に感謝をしたいし、これから私達はそれをうまく守り育て、次に引き継いでいくという責任の重さを感じますね。

【高木】 私も、身近な場所が登録されたのすごく実感がわいてきて、やっぱり守らなくちゃな、という気持ちが出てきましたね。

【知事】 二社一寺のほかにもその参道だった日光杉並木街道というのがまた素晴らしいんですよ。何とか後世に伝えたいと手当をしています。できれば次の機会に世界遺産に登録できたら、と夢を持っています。



【白井】 高木さんは、栃木県にいらつしやる前から日光がお好きだったんですね。

【高木】 ええ、そうなんです。私、中禅寺湖や竜頭の滝がすごく好きで。

【知事】 中禅寺湖には歴史があるん

ですよ。明治の終わりから昭和の始めにかけて、「夏は外務省が日光に移る」と言われるほど、外国の外交官達が集まったんです。今でもフランス、ベルギー、イギリスの大使館が残っています。

奥日光は梅雨どき雨がほとんど降らない、まさに避暑地なんです。そこに目を付けて、今、一生懸命に湖畔のリニューアルを進めています。自然が沢山残るように、自然と歴史を大切にできるグレードの高い避暑地、と思っています。

【高木】 素晴らしいですね。

とちぎの野菜・いちご・梨



女優 高木 美保さん

【白井】 とちぎで高木さんが栃木県にお住まいを移された理由の一つは「野菜作り」だそうですね。

【高木】 そうなんです。小さな畑を持つていまして、それから、近所の農家の方にもお借りして、今はちよつど冬玉のキャベツとか、白菜とか、人参、大根……

【知事】 野菜を作っておられるっていうのはいいですね。関心があるのは、小さい頃からなんですか？

【高木】 ごく最近です。色々ニューズで耳にしますし、日本の野菜が、土があまり良くないんだとか、自給率の問題とか。第一は私の健康だったんですが、私にも何かできることあるかしらって。

【知事】 栃木県では、野菜の生産は非常に少ないんですか。

【高木】 そうなんです。

【知事】 まあ今度高木さんが野菜づくりを始めたから少し増えると思えますけど(笑)。



本場に少ないんです。お米や麦が多かった。だから手間はかかるけれども、もうかる農業をしましよつとお奨めしてきました。このいちごは「とちおとめ」といって県の農業試験場が開発したんですが、今苗が欲しいと日本中からひつぱりだこです。県内でも八割がこれです。作りやすくて日持ちも味もよくて。そしてこの梨は「にっこり」と言うんですが。

【高木】 大きいんですね！

【知事】 高木さんのお顔ぐらいありますよ(笑)。ふつうの梨が終わってから出荷されます。しかもみずみずしくて甘くてとてもおいしいんですよ。

【高木】 そうなんですか。

【知事】 花もいんですよ、特に蘭。それから那須だとリンドウ。肉も那須の和牛、絶品です。徐々にお米一辺倒から移ってきたなと思いますね。

那須の魅力

【白井】 高木さんは那須にお住まいですが、那須の魅力はどんなところに感じていらつしやいますか。

【高木】 なんといっても自然が豊かるところですね。初めて訪れたとき、「なんて気持ち開放される場所、なんて穏やかになれる場所なのかしら」って、一目惚れみたいなところがあつたんですね。

【知事】 高木さんがおつしやつた自然ですけれども、とにかく広いんですよ。県立公園にサンサンタワーというのがありますが、機会があれば上がつてみてください。

お感じになつていらっしゃるよりも、もっとも広い那須を見ることのできるはずですよ。

それから、私が那須に行くたびに感じるのはロマンですね。

昔那須には水が無かつたんです。人はなかなか住みにくかつたんですが、明治十八年に那須疎水というのを国が作つてくれました。いわゆる明治の元勳達が開拓の方々に入植したんですね。その大勢の人たちのロマンが今でも息づいている。国会が移転するというお話がありますが、日本が新しい国造りを始めるとすれば、そういう所がいいんじゃないか。那須をよく調べてください、良かったらいらつしやい、ということでお奨めしているんです。東京からも近いんですよ。

【高木】 ええ、本場に近いですね。

【知事】 近からず遠からずと言っているんですが、近すぎると、大東京に飲み込まれて、地域の独自性が無くなつちゃう。程良い距離であるにもかかわらず、非常に豊かな自然。それが那須の魅力じゃないかと思えます。

【白井】 今年は二〇〇〇年。日本の栃木から、世界の栃木への第一歩になりそうですね。では知事さん最後に抱負を。

【知事】 今年こそは長引く不況から抜け出して、明るい展望が開ける、そういう年にしたいですね。そういう意味で、県民の皆様と一緒に、健康に気をつけながら頑張りたいな、そう思っています。みんな力で合わせていい栃木県を作る一年にしたいですね。



フリーアナウンサー 白井 佳子さん

マロニエ ガイト



花 歳 時 記

フクジュソウ (キンポウゲ科)

めでたい名前から縁起物の寄せ植えの中心に据えてあるのをよく見ます。ギリシャ神話の中で、美少年の誉れ高きアドニス王子はその麗しさゆえ、この草の毒を盛られて永遠の美になったとか。学術属名はアドニア。

ウォッチングポイント

野生のものは野仏の周辺に多く残存。馬頭町大山田下郷では、土手一面に群落を作っている所があります。

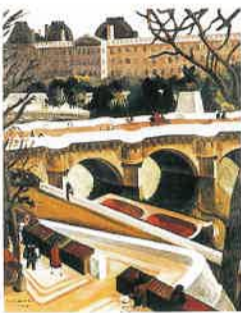
カルチャー CULTURE

県立博物館

●テーマ展「婚・産・育の民俗」「江戸時代の屏風絵」●2月5日(土)～3月31日(金)●連続講座「地球と生命の歴史①～⑤」●2月6日(日)～申込み 電話で同博物館普及資料課へ●体験学習◎「節分のお面を作ろう」●1月23日(日)◎「昔の遊び」●2月11日(金)●申込み 当日受付へ●映画会●1月22日(土)、2月12日(土)
●問合せ ☎028-634-1312

県立美術館

●企画展「地霊と旅人」所蔵品による全館陳列●3月20日(月)まで●新しいミレニアムを迎えるの最初の展覧会。テーマに基づいて、8000点に及ぶ本館の所蔵品の中から、絵画、写真、工芸など約200点を精選して展示します。
●問合せ ☎028-621-3566



「セーヌ河畔」清水金之 1924年

県子ども総合科学館

●プラネタリウム番組「スペースシャトルから見た星空」●2月27日(日)まで●スペースシャトルに乗り宇宙旅行を疑似体験してみませんか?●パラエティールサイエンス●1月22日(土)、23日(日)●簡単に楽しい工作や実験をおこないます●天文台公開●2月11日(金)



●問合せ ☎028-659-5555

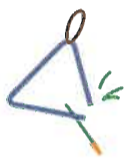
県総合文化センター

●第2回フレッシュ・フルーツ&フラワーコンサート●3月4日(土)午後4時～●とちぎの美しい花々のなかで贈るコンセル・マロニエ21入賞者によるガラコンサート



●楊興新(ヤンシンシン)胡弓コンサート●5月27日(土)午後6時30分～
●問合せ ☎028-643-1010

県政 雑談



催し

●「少子社会を考えるキャンペーン」◎少子社会を考えるシンポジウム開催●2月19日(土)午後1時～4時●会場 県総合文化センター(宇都宮市)●内容 講演「子育ては自分育て」/高橋洋子氏、パネルディスカッション●入場無料●託児有●申込み 2月7日(月)までにハガキ、FAXまたは電話で下記まで◎少子社会を考えるテレビ討論会参加者募集●3月5日(日)午後1時～3時(予定)●会場 とちぎテレビ収録スタジオ●対象 若い男女(概ね30歳代まで)●テーマ 結婚、出産、子育て、少子化等について考えること●この討論会の模様は後日とちぎテレビで放映されます◎問合せ 同キャンペーン事務局(栃木会館内)☎028-650-2377、FAX 028-650-2378

講座

●「森田療法」啓発普及講座●1月28日(金)午後2時～4時●県精神保健福祉センター(河内町)●内容 ストレス解消などに効果のある「森田療法」の生かし方を学ぶ●申込

み 電話かFAXで同センターへ※定員(150名)になり次第締切り●問合せ 同センター☎028-673-8785、FAX 028-673-6530

ボランティア活動リーダーセミナー

●2月26日(土)～27日(日)泊2日●県立今市少年自然の家●内容 記念講演「楽しいボランティア」/桂 才賀(落語家)、実技「障害者とふれあうレクゲーム」他●対象 各種団体のリーダー、学校の教職員、高校生等●申込締切 2月1日(火)●問合せ 同少年自然の家 ☎0288-21-7224～5

案内

●平成12年度県職員採用案内パンフレットの配布

●内容 県職員の職務内容や福利厚生などの紹介●配布場所 (県内) 県庁の受付、各県民センター、各県民相談室 (東京) 栃木県東京事務所、とちぎ観光センター●郵送による請求160円切手をはったあて先明記の角形2号(A4サイズ)の返信用封筒を同封の上、「職員採用案内パンフレット請求」と朱書きした封筒で下記へ●問合せ 県人事委員会事務局(☎320-8501 宇都宮市埴田1-1-20) ☎028-623-3313

●所得税の還付申告はお早めに

●所得税の還付申告受付は1月1日からです(土曜、日曜、祝日は除く)
●申告書はご自分で作成し郵送で
●詳しくは最寄りの税務署へ

●ダイオキシン類対策特別措置法の施行に係る説明会

●ダイオキシン類による環境汚染の防止や、その除去等を図り、国民の健康を保護することを目的に、1月15日から「ダイオキシン類対策特別措置法」が施行されます。これに伴い、廃棄物焼却炉(焼却能力が1時間当たり50kg以上)等の施設を設置している事業者は、施設の届出等が必要となります。そこで、その手続き等について、下記の通り説明会を開催します●期日、場所①1月21日(金)午後1時～、栃木会館(宇都宮市)②1月24日(月)午後1時～、那須野が原ハーモニーホール(大田原市)③1月27日(木)午後1時～、栃木市文化会館●申込み 会場、事業所、参加人数を記入のうえFAXで下記へ●問合せ 県環境管理課 ☎028-623-3186、FAX 028-623-3138

とちぎテレビの 栃木県提供番組

●「とちぎかわら版」

●毎週月～金曜日 午前8時55分～9時(再放送) 同日 午後9時55分～10時●県のイベントや募集案内、観光など暮らしに役立つ情報を紹介します



●「マロニエギャラリー」

●毎週土曜日 午後9時55分～10時●県内美術館に所蔵されている著名な美術品や、本県にゆかりのある作家の作品などを紹介します
1月22日 川上 澄生(版画)
1月29日 松本 哲男(日本画)
2月5日 加守田章二(陶芸)
2月12日 小山田二郎(洋画)
●問合せ 県広報課 ☎028-623-2190



トピックス

常陸宮同妃両殿下 那須町をご訪問



●農家の被災状況をご視察になる両殿下

12月10日、常陸宮同妃両殿下が、豪雨災害の復興状況のご視察等のため、那須町をご訪問になりました。両殿下は余笹川ふれあい公園と下川橋をご視察になり、渡辺知事や藤田那須町長、柿沼県土木部長から、被災の状況や復旧工事の様子などの説明を受けられました。また両殿下は、被災農家を訪問され、ねぎらいのお言葉をかけられました。

人権・同和問題講演会



●満員の会場で講演するアグネス・チャンさん

11月25日、県総合文化センターメインホールで、「人権・同和問題講演会」が開催されました。啓発ポスターや人権に関する作文の受賞者表彰等の後、「アグネスの「みんな地球に生きる人」～21世紀へのメッセージ～」と題して、エッセイスト・教育学博士でもあるアグネス・チャンさんによる講演が行われました。
●問合せ 県同和对策課 ☎028-623-3026

明神トンネル開通



●齋藤出納長らによるテープカット

県道大子黒羽線の、明神トンネル(黒羽町須賀川、須佐木間819m)が、12月3日開通しました。このトンネルは「交流ふれあいトンネル橋梁整備事業」の認定を受けて整備が進められました。事業の完了により、「難所」といわれた明神峠の安全な交通が確保されました。さらに、トンネル化による地域間交流の促進も期待されています。
●問合せ 県道路建設課 ☎028-623-2414